

2017年9月15日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

人気の「グローバル・フィンテック株式ファンド」に 「年2回決算型」や「為替ヘッジあり」など計3ファンドを追加

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、2016年12月より、世界のフィンテック関連企業の株式を主な投資対象とする追加型投信「**グローバル・フィンテック株式ファンド**」を運用し好評を博していますが、このほど新たに、決算を年2回行なう「**グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)**」と、原則として為替ヘッジを行なう「**グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり)**」および「**グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)**」の計3ファンドを追加し、本日、運用を開始しました。エイチ・エス証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、SMBCフレンド証券株式会社、株式会社SBI証券、ならびに浜銀TT証券株式会社が本日から新しい3ファンドの取り扱いを開始します。また、東海東京証券株式会社は9月19日から、現在運用中の「**グローバル・フィンテック株式ファンド**」と新ファンド3本の計4ファンドの取り扱いを開始します。

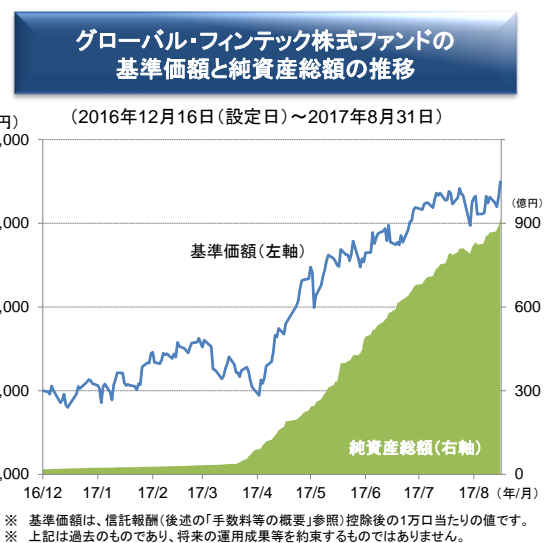
「フィンテック(FinTech)」とは金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語で、最新の情報技術を活用した「新たな金融サービス」のことを言います。フィンテックはスマートフォンのアプリなどを通じた金融サービスを中心に急成長しており、その利便性の高さから「私たちの生活を一変させるイノベーション」として注目されています。

日興アセットが運用中の「**グローバル・フィンテック株式ファンド**」は、今後の成長が期待されるフィンテック関連企業の株式(預託証券を含む)を中心に投資を行なうファンドです。個別銘柄の選定においては、イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシーの調査力を活用しています。先進的な商品性や好調な運用成績に対し幅広いご支持をいただいた結果、運用開始からわずか約9カ月間で、同ファンドの純資産額は918億円に成長しています(2017年8月末現在)。

この「**グローバル・フィンテック株式ファンド**」に、新たに、決算を年2回行ない、基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には分配対象額の範囲内で積極的に分配を行なう「**年2回決算型**」と、原則として為替ヘッジを行ない、年1回決算を行なう「**為替ヘッジあり**」、さらに同じく原則として為替ヘッジを行なうとともに、決算を年2回行ない、基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には分配対象額の範囲内で積極的に分配を行なう「**為替ヘッジあり・年2回決算型**」の計3ファンドを追加しました。これにより、決算頻度や分配方針、為替ヘッジの有無について幅広い選択肢を得たいという投資家のみなさまのニーズにも確かに応えたいとします。

日興アセットは今後も、投資環境の変化を迅速に捉えた質の高い商品の開発と優れた運用パフォーマンスのご提供に努めてまいります。

以上



■手数料等の概要

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料： 購入時手数料率は、3.78% (税抜 3.5%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
 - 換金手数料： ありません。
 - 信託財産留保額： ありません。
- ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬： 純資産総額に対して年率 1.89% (税抜 1.75%)を乗じて得た額
- その他費用： 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に 0.54 (税抜 0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■リスク情報

投資者のみなさまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)のみなさまに帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者のみなさまに「グローバル・フィンテック株式ファンド」「グローバル・フィンテック株式ファンド(年 2 回決算型)／(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジあり・年 2 回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した資料です。
- 当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

55年を超える実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界9カ国・地域に擁して、200名超の運用プロフェッショナルが約20.6兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2017年6月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会